

「パソコンを使えるようになる」と世界が変わります。視覚障害者のIT学習を支援するNPO法人SPAN（東京都港区）の理事長北神明さん（62）の言葉を聞くと胸が熱くなる。北神さんは40歳で視力を失ったが、パソコンのおかげで再就職ができた。

北神さんは定年を迎え、これまで12年間取り組んできた「SPAN」での視覚障害者向けパソコン教室の活動を拡充させ、全国規模での指導者養成や支援講座の開催に取り組んでいる。

音声読み上げソフトを使えば、パソコンや携帯電話が「目」となって、文字を音声に変えてくれる。「それまでは、誰かに頼まない

## シニア デジタル達人伝

視覚障害者にパソコンを



と新聞も手紙も読めなかったのですから。もう一度、

新聞を読みたい、辞書を使いたい、私たちの講座に

とられる方の切なる願いです」

糖尿病などが原因で人生の途中で視力を失う人は多い。「ビジネスのベテランが失明して離職するのは本当にもったいない。40代の方が、この技術を知っていれば仕事を辞めなくてよかったのになあ、とおっしゃいます」

北神さんが最も熱心に取り組んでいるのが「視覚障害者のためのパソコン遠隔講座」だ。講師と生徒のパソコンで同じ画面が共有できる技術「リモートアシスタンス」やインターネット無料電話の普及で、遠隔地での在宅学習は

格段にやりやすくなっていく。北神さんが代表を務めるNPO法人「SPAN」のホームページは「<http://www.span.jp/>」

「中途の視覚障害者は外出すら難しい。しかし、読み上げソフトを使えるようになれば仕事を失うことはないのです。92歳から始めた方も使えるようになりましたよ」

北神さんのメールにはいつも感激してしまう。優しい温かい言葉遣い。分かりやすく、簡潔な文章には誤字が一つもない。「高齢になると点字の習得が困難ですから、パソコンで情報を得られるのは本当に重要です。すべての視覚障害者にこの技術を届けたい」と言う北神さんの夢を応援していきたい。

（老テク研究会事務局長・近藤則子）

北神明さんが代表を務めるNPO法人「SPAN」のホームページは「<http://www.span.jp/>」

「中途の視覚障害者は外出すら難しい。しかし、読み上げソフトを使えるようになれば仕事を失うことはないのです。92歳から始めた方も使えるようになりましたよ」

北神さんのメールにはいつも感激してしまう。優しい温かい言葉遣い。分かりやすく、簡潔な文章には誤字が一つもない。「高齢になると点字の習得が困難ですから、パソコンで情報を得られるのは本当に重要です。すべての視覚障害者にこの技術を届けたい」と言う北神さんの夢を応援していきたい。

（老テク研究会事務局長・近藤則子）

北神明さんが代表を務めるNPO法人「SPAN」のホームページは「<http://www.span.jp/>」

視覚障害者のためのパソコン遠隔講座の準備をする北神明さん（東京都港区のNPO法人「SPAN」事務所）



## 全国規模で指導者養成

「<http://www.span.jp/>」